

株主の皆様へ

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社を取り巻く環境は、世界的な金融危機を背景に円高および株価の下落が企業収益を圧迫し、雇用環境の悪化や個人消費の冷え込みがますます強まるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社第80期第1四半期の業績は中面に記載のとおりとなりました。

引き続き、中期経営ビジョンである「中期経営計画の達成によるすべてのステークホルダーの満足度向上」の実現に向けて、継続した売上向上と利益の確保を目指します。また、神戸2工場体制に向けた西神新工場を着工し、一方で、ワーク・ライフ・バランスの推進による良質な人材の確保なども進めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

Morozoff View
代表取締役社長
川喜多 佑一



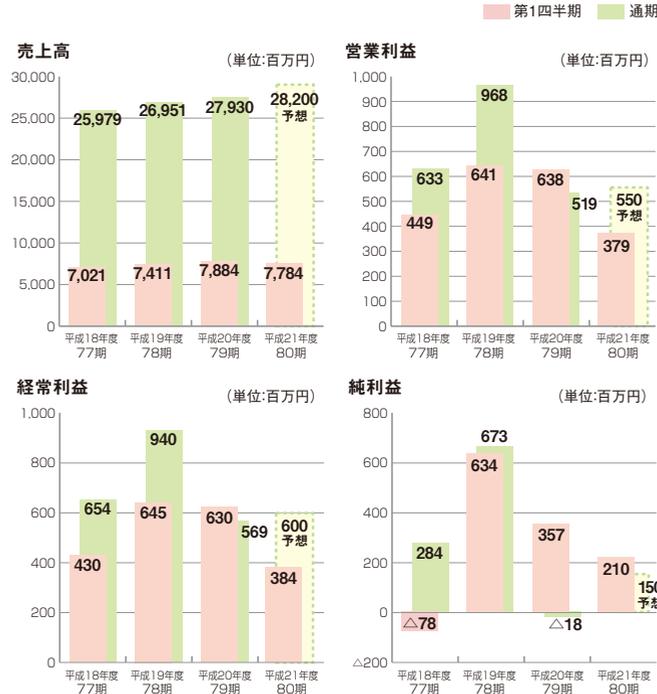
● 第1四半期の業績

売上高 7,784百万円
(前年同期比1.3%減)

営業利益 379百万円
(前年同期比40.6%減)

経常利益 384百万円
(前年同期比39.0%減)

四半期純利益 210百万円
(前年同期比41.1%減)



業績概況Q & A

- Q** 売上高が前年より減少したのはなぜですか？
A バレンタインデー商戦では前年を上回ったものの、個人消費の冷え込みなどにより、3～4月の売上が減少したためです。
- Q** 利益が前年より減少したのはなぜですか？
A 減収に加え、原材料高(包装紙や紙器)などにより売上原価が上昇したためです。
- Q** 西神に新工場を建設すると発表されていますが、どのようなメリットがあるのでしょうか？
A バリエティに富んだチョコレート商品の生産、品質の向上、コストの低減、省エネルギー化による環境負荷の軽減など、多くのメリットがあります。
- Q** 今後の見通しはどのようにでしょうか？
A まずは夏のギフト商品の魅力を高め、品揃えを強化します。今期末には予定どおりの売上高、利益を確保できるよう努力します。

Summer Gift

装いを新たにした商品がたくさん登場します。日持ちのする「ザ・プリン」には、カスタードプリンに加えてマンゴープリンとチョコレートプリン仲間入り。さらにおいしさが広がりました。





POST CARD

第1四半期の情報は、中面をご覧ください。

MOROZOFF View

第80期第1四半期
報告書

平成21年2月1日～平成21年4月30日

モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 特別口座の口座管理機関 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
 事務取扱場所 ☎0120-094-777 (通話料無料)

返 送 先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



T O P I C S



さくらフェア2009

当社は、暮らしを彩るさまざまなイベントに力を入れ、スイーツを提供しております。

2009年2月中旬から4月には、「さくらフェア2009」を展開し、春に咲く桜の花をイメージしたスイーツを販売いたしました。

花びらが浮かんでいるかのようなゼリーや、桜の葉を使ってしっとり焼き上げたミニケーキ、桜の風味に抹茶を合わせたチーズケーキなど、おいしさはもちろん、見た目にも華やかで季節感あふれるスイーツは、お客様からご好評をいただきました。



モロゾフのこだわり 「カスタードプリン」

～誕生秘話～



「カスタードプリン」は喫茶店のオリジナルメニューとして、生まれました。

1962年に誕生し、多くのお客様に愛されてきたモロゾフの「カスタードプリン」。実は、誕生したのは工場でも試作室でもなく、東京銀座のオフィス街にあった小さな喫茶店「モロゾフチョコレートショップ」でした。

1995年には、お子様をはじめ、少しでも味わいたいというお客様の声にお応えし、約1/2のミニサイズも登場しました。



●開店当日のチョコレートショップ

お客様の変わらないご愛顧のおかげで、約50年前の誕生当時のおいしさを今に引き継ぐことができました。

仲間もたくさん
増えました!



これからも、おいしいプリンをお届けいたします。